名前：荒 哲（あら さとし）
最終学歴：フィリピン大学大学院フィリピン研究学博士課程修了
職名：教授
学位：博士 Ph.D in Philippine Studies (University of the Philippines)
政治学修士 （東海大学大学院）
担当科目：英語 I、国際関係論、教養演習、専門基礎演習、専門演習
所属学会：アジア政経学会 東南アジア学会
専門分野：国際関係論 フィリピン近現代史
詳しい業績はここをご覧ください。https://researchmap.jp/miyashiro82

■研究業績
【著書】（共著、編著、執筆分担を含む）
1. （分担執筆）「日本占領下フィリピン社会の忘れられた未完の革命運動」高綱博文・門間卓也・関智英編『グレーゾーンと帝国: 歴史修正主義を乗り越える生の営み』勉誠出版、2023 年、479～496 頁。
2. （分担執筆）Pagbabalik, Pagbabantayog sa Filipino: Antolohiya ng mga Piling Saliksik sa Pandaigdigang Kongreso sa Araling Filipinas sa Wikang Filipino フィリピーノ語への回帰と礎（フィリピーノ語によるフィリピン研究国際会議選定記念論文集）Satoshi Ara, Ang Karahasan mula sa Tabi at Nasaisantabi: Ang Karahasan sa Lalawigan ng Leyte sa Panahon ng Hapon, pp.321-350.）, Manila: Komisyon ng Wikang Filipino, 2021.
3. （単著）『日本占領下のレイテ島 抵抗と協力をめぐる戦時下フィリピン周縁社会』東京大学出版会、2021 年。 第 11 回地域研究コンソーシアム賞研究作品賞受賞作。
4. （分担執筆）*Filipino Colonial History and Legacy*: Centennial Publication of De La Salle University-Manila, Manila: Central Books, 2011. Satoshi Ara, A Study of the Japanese Occupation of Leyte, Philippines (1942-1945), pp.119-135.

【論文】
1. Maneuvering between Resistance and Collaboration: Wartime Violence and the Informal Economy at the Margins during the Japanese Occupation of the Philippines. *Southeast Asian Studies.* （京都大学東南アジア地域研究研究所）15 (2): 1-24, August 2026. 査読付
2. 「フィリピン社会における「社会的盗賊」に関する考察 ―日本占領末期より戦後復興期にかけてのゲリラ，ギャングの活動を中心に―」『東南アジア研究』（京都大学東南アジア地域研究研究所）64 巻 1 号、3～35 頁、2026 年 7 月。査読付
3. Beyond Collaboration and Heroism: Rethinking the Role of Pacita del Rosario in Wartime Manila. *Historical Bulletin* (Philippine Historical Association). 58: 100-132, 2024.査読付
4. Filipino Collaboration and Atrocities in the Japanese-occupied Philippines and its Unjust Judicial Consequences: Case Study of Sagay, Negros Occidental. *Philippine Studies: Historical and Ethnographic Viewpoints,* 71 (3): 381-412, September 2023. 査読付
5. Resistance and Collaboration over Simmering Anti-American Sentiments: A Case Study of Calbayog,

Samar during the Japanese Occupation of the Philippines. *Philippine Social Science Review*. 75 (2): 1-32, June 2023. 査読付

6. Resistance and collaboration: The Japanese Occupation of Leyte, Philippines, and the role of the masses in wartime violence. *Journal of Southeast Asian Studies* (Cambridge University Press), 53 (1-2): 252-276, March-June 2022. 査読付
7. 「日本占領下の戦時暴力と戦後の対日協力裁判をめぐる不平等な断罪 フィリピン・ネグロス島の例」『アジア経済』(アジア経済研究所)62 巻 3 号、32～62 頁、2021 年 9 月。査読付
8. 「日本占領下フィリピン周縁社会の忘れ去られた民衆間暴力―レイテ島の対日協力準軍事組織の活動をめぐって」『アジア研究』(アジア政経学会) 64 巻 3 号、33～59 頁、2018 年 7 月。査読付。第 16 回アジア政経学会優秀論文賞受賞作。
9. Emilio Aguinaldo under American and Japanese Rule: Submission for Independence? *Philippine Studies: Historical and Ethnographic Viewpoints.* 63 (2), 161-192, June 2015. 査読付
10. 「暴力によるビジネス－日本占領下のフィリピン・レイテ島における経済的対日協力」『東南アジア歴史と文化』(東南アジア学会) 43 号、44～68 頁、2014 年 5 月。査読付
11. 「日本占領下のフィリピン・レイテ島における対日協力と対日抵抗をめぐる政治抗争」『東南アジア研究』(京都大学東南アジア研究所) 51 巻 1 号、70～108 頁、2013 年 7 月。査読付
12. Collaboration and Resistance: Catalino Hermosilla and the Japanese Occupation of Ormoc, Leyte (1942-1945). *Philippine Studies: Historical and Ethnographic Viewpoints*, 60 (1), 33-68, March 2012. 査読付
13. Food Supply Problem in Leyte, Philippines during the Japanese Occupation 1942-44. *Journal of Southeast Asian Studies* (Cambridge University Press). 39 (1). 59-82, February 2008. 査読付
14. 「リカルテ将軍の政治思想について」『アジア研究』54 巻 1 号、62～77 頁、2008 年 1 月。査読付
15. 「日本占領下フィリピン・レイテ島における食糧問題 1942 年－1944 年」『国際政治』(日本国際政治学会) 144 号、32～50 頁、2006 年 2 月。査読付
16. 「近年のフィリピンにおける歴史学再考運動について」『福島学院大学・福島学院短期大学研究紀要』36 号、95～104 頁、2004 年 12 月。査読無し
17. 「タガログ語法定通訳の問題点」『福島学院短期大学研究紀要』34 号、143～149 頁、2003 年 3 月。査読無し
18. 「リカルテ将軍の日本亡命」『人間学研究所報』(桜の聖母短期大学人間学研究所) 9 号、47～64 頁、2002 年 5 月。査読無し
19. 「リカルテ将軍のフィリピン独立構想」『桜の聖母短期大学紀要』24 号、95～109 頁、2000 年 3 月。査読無し
20. 「リカルテ将軍に関する一考察 1915 年－1945 年」『国際政治』(日本国際政治学会) 120 号、210～229 頁、1999 年 2 月。査読付
21. Si Heneral Artemio Ricarte at Ang Ksarinlan ng Pilipinas, 1915-1945. (リカルテ将軍とフィリピンの独立) フィリピン大学社会科学哲学部提出フィリピーノ語博士論文、1998 年 Ph.D.論文
22. General Artemio Ricarte's Political Asylum in Japan, Diliman Review (University of the Philippines), 43 (3, 4), 17-24, August 1996. 査読付

23. 「冷戦期における米国の対比軍事援助」『行動科学』（東海大学社会科学研究所）31 号、25～36 頁、1990 年 3 月。査読付
24. 「モロ民族解放戦線とイスラム会議機構」『東海大学政治学研究』4 号、1～10 頁、1987 年 3 月。査読無し
25. 『東南アジアのエスニシティーに関する考察』東海大学大学院政治学研究科提出修士論文、1987 年 3 月。

【その他】（報告書、書評、翻訳、エッセイなど）

1. 「アジア太平洋戦争直後のフィリピンにおける特別国民裁判と関連文書、People's Court Papers について」『資料学の方法を探る』（愛媛大学法文学部）21 号、81～97 頁。
2. Sakdalista's Struggle for Philippine Independence, 1930-1945. Motoe Terami-Wada, 書評、*Asian Studies: Journal of Critical Perspective on Asia* (Asian Center, University of the Philippines), 52 (1), 166-168, August 2016.
3. 「レイテ島の歴史から見た政治風土」『台風ヨランダはフィリピン社会をどう変えるか、フィリピンの台風災害に関する緊急研究集会報告書』京都大学地域研究統合情報センター、45～48 頁、2014 年 4 月。
4. 「書評 中野聡著『東南アジア占領と日本人』」『歴史評論』761 号、98～103 頁、2013 年 9 月。

【受賞】

1. 2021 年度 第 11 回地域研究コンソーシアム賞研究作品賞 受賞作品『日本占領下のレイテ島』東京大学出版会、2021 年 2 月。
2. 2019 年度 アジア政経学会第 16 回優秀論文賞 「日本占領下フィリピン周縁社会の忘れ去られた民衆間暴力―レイテ島の対日協力準軍事組織の活動をめぐって」『アジア研究』（アジア政経学会）64 巻 3 号、33～59 頁、2018 年 7 月。

【主な学外教育歴】

1998 年 4 月～2000 年 3 月 桜の聖母短期大学英語学科非常勤講師
1998 年 4 月～2000 年 3 月 東海大学政経学部政治学科非常勤講師
2002 年 4 月～2003 年 3 月 中央大学経済学部非常勤講師
2002 年 4 月～2008 年 3 月 福島学院大学保育学科非常勤講師
2003 年 4 月～2008 年 3 月 福島大学共通教育非常勤講師
2004 年 4 月～2008 年 3 月 日本大学工学部総合教育非常勤講師
2008 年 4 月～2011 年 3 月 Associate Professor, Department of History, College of Liberal Arts, De La Salle University-Manila, Philippines
2011 年 4 月～2022 年 3 月 福島大学基盤教育非常勤講師
2015 年 4 月～2022 年 3 月 福島県立医科大学医学部、看護学部非常勤講師
2024 年 4 月～現在に至る　山梨県立大学看護学部、人間福祉学部非常勤講師

【主な学会報告・研究発表】

1. Beyond Collaboration and Heroism: Rethinking the Role of Pacita del Rosario in Wartime Manila. Historical Bulletin. 6th Philippine Studies Conference in Japan. November 1, 2026. Osaka University.
2. 「フィリピン社会における火器の定着と暴力の連続性―日本占領期からドゥテルテ政権時代まで―」東南アジア学会関東地区例会、上智大学、2025 年 9 月。
3. 「途上国の周縁社会におけるギャング組織化の歴史的背景並びに火器の定着について：フィリピンのマニラを例に」第 1 回大月市立大月短期大学地域研究センター公開講座、2025 年 7 月。
4. Filipino Collaboration and Atrocities in the Japanese-occupied Philippines and its Unjust Judicial Consequences: Case Study of Sagay, Negros Occidental, The 5th Philippine Studies Conference in Japan, 26 November 2022, University of Tokyo (online presentation).
5. 地域研究コンソーシアム 2021 年度年次集会（オンライン） JCAS 賞授賞式・記念公演 研究作品賞記念公演、アジア経済研究所主催。『日本占領下のレイテ島』(東京大学出版会、2021 年) 2021 年 10 月 30 日。
6. General Emilio Aguinaldo and General Artemio Ricarte during the American colonial years and the Japanese occupation period: two different Filipino nationalism toward independence, International Conference on the 150th Anniversary of Emilio Aguinaldo, Kawit, Cavite, Philippines, 19 March 2019.
7. Wartime violence by masses during the Japanese occupation of the Philippines, West Maui Conference on the Pacific People and their Environments, Kahului, West Maui Is., Hawaii, USA, 13 October 2017.
8. Wartime Violence in Periphery in Philippine Society: an example of Leyte Province during the Japanese Occupation, International Conference of Philippine Studies in Filipino Language, National Museum in Manila, Philippines, 2 August 2017.
9. Some Factors Hampering Rehabilitation: A History Study on Political Spheres in Leyte, International Conference on Disasters in Asia, Tagbiliran City, Bohol, Philippines, 20 January 2015.
10. Business by Violence; economic collaboration in Leyte during the Japanese occupation of Philippine, 3rd Philippine Studies Conference in Japan (PSCJ) at Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University, Japan, 28 February 2014.
11. 「対日抵抗と対日協力の相克：日本占領下のフィリピン・レイテ島」東南アジア学会秋季研究大会、東京、上智大学。2012 年 12 月 8 日。
12. A Politics of Collaboration and Resistance during the Japanese Occupation in Leyte, Philippines—with Special Reference to Mayor Hermosilla in Ormoc, Leyte, 1942-1945, 2nd Philippine Studies Conference of Japan, at Epocha International Conference Hall, at Tsukuba, Ibaraki, Japan, 15 November 2010.

【主な獲得研究助成・競争研究資金】

- 松下国際財団博士課程研究助成 「リカルテ将軍と日本」 1996 年 4 月～1997 年 3 月
- 福武学術文化振興財団歴史学研究助成 「日本占領下フィリピン・レイテ島における対日協力問題」2012 年 4 月～2013 年 3 月
- 三菱財団人文科学研究助成「日本占領下のフィリピンにおける経済的対日協力の研究」2016 年 10

月～2017 年 9 月

- 日本学術振興会　科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究分担者（代表 岡田泰平） 「アジア・太平洋戦争下のフィリピン戦に関する戦争犯罪研究」課題番号 22K00927　2022 年 4 月～2025 年 3 月
- 日本学術振興会 科学研究費助成事業・研究スタート支援 （代表 荒 哲)「日本占領下フィリピンにおける階級上昇の研究」課題番号 22K20063 2022 年 4 月～2024 年 3 月
- 平和中島財団研究助成 アジア地域重点学術研究助成「日本占領下フィリピンにおける相互扶助をめぐる民衆史の研究」2023 年 4 月～2023 年 3 月。京都大学東南アジア地域研究研究所連携教授の所属で採択。
- 三菱財団人文科学研究助成「日本占領下フィリピン周縁社会の抵抗と協力をめぐるビジネスと民衆暴力に関する研究」2024 年 10 月～2025 年 9 月

■社会活動

- 甲府地方裁判所（東京高等裁判所管轄内） タガログ語法廷通訳人 2022 年 4 月より
- 山梨県立都留高等学校学校評議員 2023 年 4 月～2026 年 3 月
- 大月市景観審議会委員　2025 年 8 月 1 日より
- 国際交流基金後援による映画制作 Yamazoe の時代考証、2026 年 5 月～

【その他（メディア発表など)】

- 記事紹介「占領の歴史忘れないで 大月短期大学教授日比映画で時代考証」山梨日日新聞、2026 年 8 月 4 日。
- 記事紹介「どうやって人々は銃を手に：フィリピン社会の暴力に迫る」まにら新聞、2025 年 9 月 26 日。
- コラム「ゲリラは英雄なのだろうか」座標軸（2 頁）まにら新聞　2025 年 4 月 25 日、26 日
- 記事紹介「周縁の歴史を求めて：トンドの英雄の足跡を訪ねる」まにら新聞、2025 年 4 月 3 日。
- コラム「日本占領期・現代の政治暴力：知られざるサマール州カルバヨグの歴史的背景」（座標軸）まにら新聞　2024 年 10 月 21 日。
- コラム「米軍のレイテ島上陸８０周年から見えてくる「もう一つのフィリピン史」」（座標軸）まにら新聞　2024 年 8 月